

シラバス

指定番号 17

商号又は名称：社会福祉法人キリスト教ミード社会館

科目番号・科目名	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	<p>①主だった状態像の高齢者の生活の様子をイメージでき、要介護度等に応じた在宅・施設等それぞれの場面における高齢者の生活について理解できる。</p> <p>②要介護度や健康状態の変化に沿った基本的な介護技術の原則（方法、留意点、その根拠等）について説明でき、生活の中の介護予防、および介護予防プログラムによる機能低下の予防の考え方や方法を説明できる。</p> <p>③利用者の身体の状況に合わせた介護、環境整備について理解できている。</p> <p>④人の記憶の構造や意欲等を支援と結びつけて説明できる。</p> <p>⑤人体の構造や機能が列挙でき、何故行動が起こるのかを説明できる。</p> <p>⑥家事援助の機能と基本的原則について理解し、調理実習を経験する。</p> <p>⑦装うことや整容の意義について理解できている。</p> <p>⑧体位変換と移動・移乗の意味と関連する用具・機器やさまざまな車いす、杖などの基本的使用方法や、体位変換と移動・移乗に関するからだのしくみを理解して、指示に基づいて介助を行うことができる。</p> <p>⑨食事の意味と食事を取り巻く環境整備の方法や、食事に関するからだのしくみを理解して、指示に基づいて介助を行うことができる。</p> <p>⑩入浴や清潔の意味と入浴を取り巻く環境整備や入浴に関連した用具及び、入浴に関するからだのしくみを理解して、指示に基づいて介助を行うことができる。</p> <p>⑪排泄の意味と排泄を取り巻く環境整備や関連した用具及び、排泄に関するからだのしくみを理解して、指示に基づいて介助を行うことができる。</p> <p>⑫睡眠の意味と睡眠を取り巻く環境整備や関連した用具及び、睡眠に関するからだのしくみを理解して、指示に基づいて介助を行うことができる。</p> <p>⑬ターミナルケアの考え方、対応のしかた・留意点、本人・家族への説明と了解、介護職の役割や他の職種との連携（ボランティアを含む）について理解ができる。</p>			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護の基本的な考え方	2	2		(1)介護の基本的な考え方 ・理論と法的根拠に基づく介護 ・介護保険下の介護サービス
② 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	4	4		(1)高齢者の心理 ・加齢に伴う変化とその心理・高齢期のパーソナリティと適応 (2)自己実現と生きがいづくり ・高齢期の喪失体験・自己実現と生きがい・生きがいとはなにか・生きがいづくり支援
③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	4	4		(1)人体の名称とはたらき ・人体各部の名称・骨格、関節、筋のはたらき (2)運動動作に関する基礎知識 ・身体の動きの基本（基本動作）・ボディメカニクスの原則と介護への応用 (3)神経系に関するからだのしくみ ・中枢神経系・末梢神経系 (4)バイタルチェック ・脈拍・心拍・血圧・体温・呼吸
④ 生活と家事	8	8		(1)家事支援の基本原則 ・家事支援の必要性和目的・利用者に合わせた生活 (2)家事支援の介護技術 ・掃除・調理・洗濯・衣類の補修 (3)演習（実習室にて） （調理実習） ・豊かな食生活・食べることの楽しみ・調理の工夫

⑤ 快適な住環境整備と介護	4	4	(1)住環境整備 ・住居の役割と機能・快適な環境づくりと安全・室内整備と清潔 (2)演習（実習室にて） （福祉用具の活用） ・福祉用具の活用にあたって・福祉用具とその使用方法
⑥ 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7	7	(1)整容に関する基礎知識 ・整容の意味・整容行動の仕組み (2)演習（実習室にて） （整容の支援技術） ・身体の清潔の介護・見だしなみ （口腔ケアの支援技術） ・口腔ケアの意義・口腔ケアの仕組みと働き・口腔ケアの基本
⑦ 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7	7	(1)体位・姿勢の介護 ・体位、姿勢のもつ意味・体位、姿勢介護・褥瘡の予防 (2)演習（実習室にて） （衣服の着脱の介護） ・衣服着脱のもつ意味・衣服の着脱介護 （移乗の介護） ・移乗のもつ意味・移乗の介護 （車いすでの移動の介護） ・車いす移動のもつ意味・車いす移動の介護 （外出の介護） ・外出のもつ意味・外出の介護 ・肢体不自由者の歩行の介助・視覚障がい者の歩行の介助
⑧ 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7	7	(1)食事に関する基礎知識 ・食事の意味・食事の生理的な仕組み (2)演習（実習室にて） （食事の介護） ・姿勢と嚥下機能・視覚障がい者への介助（クロックポジション）
⑨ 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7	7	(1)入浴・清潔保持に関する基礎知識 ・入浴のもつ意味・清潔保持の意味・清潔保持のための行動の仕組み (2)演習（施設内入浴室にて） （入浴の介護） ・介護施設の入浴室を使った体験演習
⑩ 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7	7	(1)排泄に関する基礎知識 ・排泄の介護のもつ意味・排泄の仕組み (2)演習（実習室にて） （排泄の介護） ・ポータブル・ベッド上などでの模擬演習
⑪ 睡眠に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護	3	3	(1)睡眠に関する基礎知識 ・睡眠の意味・睡眠の仕組み・睡眠の状態と睡眠障害の原因把握・安眠への支援 (2)演習（実習室にて） （睡眠の介護） ・寝具の整え方のもつ意味・寝具の整え方の介護
⑫ 死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護	3	3	(1)終末ケアに関する基礎知識 ・終末期とは・終末期の心身の変化と対応 (2)終末期ケア ・緩和ケア・家族へのケア
⑬ 介護過程の基礎的理解	6	6	(1)介護過程の基礎的理解 ・介護過程の目的と意義・介護過程の展開・介護過程とチームアプローチ (2)介護過程の展開 （事例を用いたグループ演習）
⑭ 総合生活支援技術演習	6	6	（演習1） 要介護者・家族介護者への援助 （演習2） 要支援者への援助 それぞれ事例を用いて、①事例の概要②生活状況③利用者の状態像の把握④介護計画の立案⑤手順書の作成⑥評価のまとめ⑦事例の将来像をグループで演習する。
（合計時間数）	75	75	

<p>使用する機器・備品等</p>	<p>車いす、テーブル、足台、防水布、エプロン、自助具、いす（背もたれやひじあてのあるもの）、クッション、食器（食べやすく工夫されたもの）、ビニール、タオル、ストロー、スプーン、フォーク、はし、吸いのみ、おしぼり、とろみ剤、ポータブルトイレ、取り付け式手すり、便器（和式・和洋折衷型・洋式）尿器（男性用・女性用採尿器）自動吸入式集尿器、各種おむつ、おむつカバー、パッド、ゴムマット、防水布、バスタオル、汚れたおむつを入れる容器、着脱しやすい衣類 トイレットペーパー、パジャマ、寝巻き（ゆかた式）着脱が容易にできる衣類（片マヒ用、後ろファスナー）イス、簡易浴槽、（一般浴槽）、シャワーチェア、シャワーキャリー、入浴台、手すり、洗面器、バスボード、浴槽台、便器、滑り止めマット、すのこ、防水シート、クッション枕、ウォッシュクロス、ヘアブラシ、くし、シャンプー、リンス、石鹸、保湿クリーム、綿棒、耳栓、つめ切り、ドライヤー、洗髪用パッド、シャンプーハット、バケツ、リフトバケツ、洗面器、陰部用洗浄容器、石鹸、シャンプー、リンス、ドライシャンプー、ゴム手袋、やかん、湯せん用ピッチャー、タオル、陰部用タオル、ビニールシート、防水シート、洗髪器、耳栓、50%エタノール、ガーゼ、歯ブラシ、コップ、受水盆、つめ切り、保湿クリーム、ベビーオイル、ヘアバンド、くし、ブラシ、安全カミソリ、電気カミソリ 各種ベッド、マットレス、マットレスパッド、布団、毛布、掛け布団、枕、クッション、枕カバー、シート、防水シート、ベッドブラシ、タオルケット、洗濯かご、ビニール、座布団、小枕、大枕、介助バー、エアマット・ビーズマット、白杖、アイマスク、リフト、スライディングボード、スライディングシート、副子、三角巾、包帯、段ボール、カーペット、弱視者用レンズ、点字版 等 一般財団法人 長寿社会開発センター発行 DVD 教材</p>
-------------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。